

平成21年度高エネルギー加速器研究機構技術職員シンポジウム

2010年3月17日

国立天文台技術職の ジョブサポート制度について

自然科学研究機構

国立天文台 沖田喜一

報告内容

1. 国立天文台の技術職員と組織について
2. 試行から実施にいたるまでの経緯
3. 制度の分析と改訂
4. 本格実施した制度内容
5. 実施の状況と今後
6. 技術検討委員会の検討中課題

1. 国立天文台の技術職員と組織について

(2010年1月現在)

国立天文台の全職員数 484名

非常勤職員 236名(うち研究員50人)

(ハワイ観測所のRCUH 70名を含まず)

常勤職員 248名

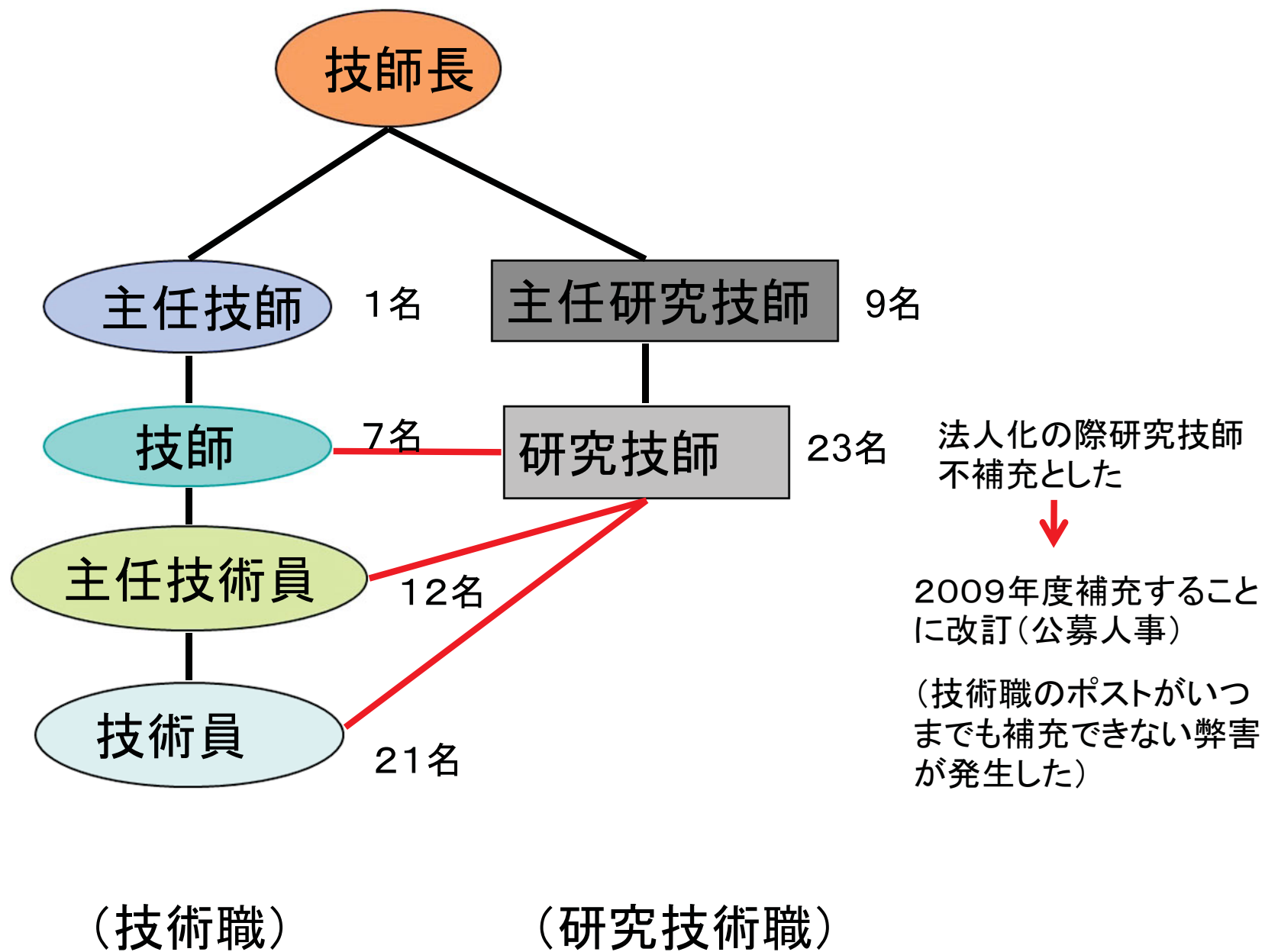
(内訳)

事務職員 47名

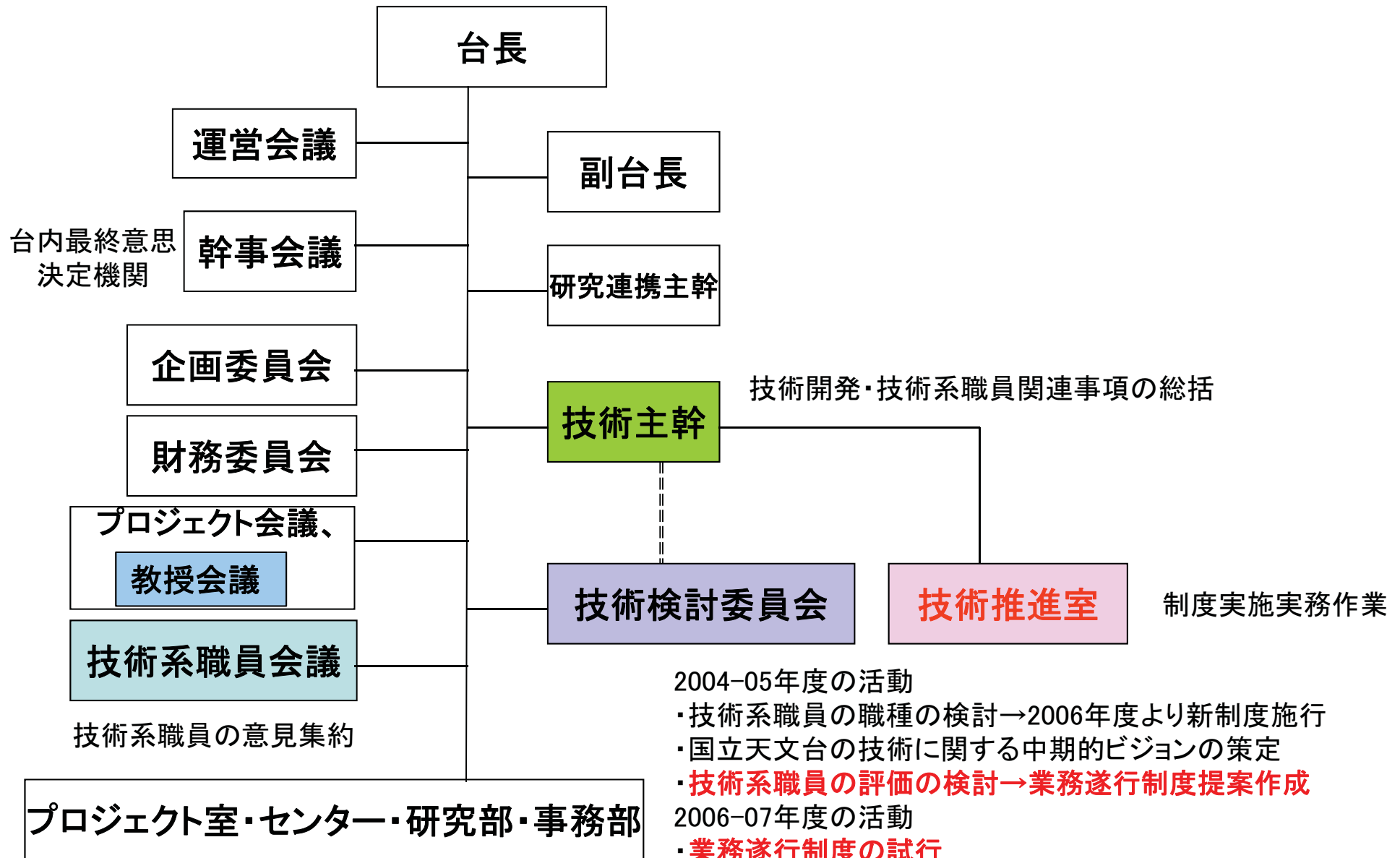
研究教育職員 161名(うち研究技術職32名を含む)

技術系職員 73名(うち研究技術職32名を含む)

技術系職員の職階



国立天文台の技術系関連の組織体制



2004-05年度の活動

- ・技術系職員の職種の検討→2006年度より新制度施行
- ・国立天文台の技術に関する中期的ビジョンの策定
- ・**技術系職員の評価の検討→業務遂行制度提案作成**

2006-07年度の活動

- ・**業務遂行制度の試行**

2008-2009年度

- ・**試行の問題点を再検討し、ジョブサポート制度として施行**

2. 試行から実施にいたるまでの経緯

新制度(業務遂行制度)試行に至るまでの経緯

- 技術検討委員会への前台長の諮問内容
 - 技術系職員の職種の検討
 - 技術系職員の評価の検討
 - 国立天文台の技術に関する中期的ビジョンの策定
- 2004年から技術検討委員会で検討
 - 技術系職員へのアンケート実施
 - 全プロジェクト長からの聞き取り調査実施
- 業務遂行上の諸問題の改善のために
 - 単なる評価制度の導入は効果は小さい
 - 技術系職員の仕事のスタイル自身の見直しが必要
個人中心型(鍋蓋式)からチーム中心型(業務ピラミッド)に
業務を通しての技術継承や新技術の習得

試行における業務遂行に関する制度

1. 能力開発・育成プログラム

技術系職員全員が対象

年度当初に「[目標設定シート](#)」作成(スーパーバイザ、所属長と相談)

年度末に「[達成度報告書](#)」作成(自己評価、SVコメント、所属長コメント)

[webによる電子投稿](#)

2. OJT(On the Job Training)制度

技師(研究技師を含む)以下の技術系職員が対象

業務スーパーバイザ ・ 専門スーパーバイザの設定

[作業進捗報告書\(月報\)](#) 毎月の状況をまとめ業務スーパーバイザのチェックを受け提出する

SVは3カ月毎に「[OJT報告書](#)」を作成

[webによる電子投稿](#)

3. 初任者研修制度

新卒相当で入台した技術系職員が対象

3年間の研修で専任のチューターを設ける

[成果報告書](#)作成と初任者研修成果報告会を開催する

試行から本格実施までの経過

- ・年度末の「達成度報告書」の検証を行うために試行を半年間延長した。
- ・技術検討委員会で延長期間終了後、提出率等の検証を行い、併せて試行に対するアンケート調査、各職場での懇談会を行った。
- ・技術検討委員会で、アンケート調査結果、懇談会での意見等を分析し、制度の見直し、改訂等を行い、2009年初めに台長へ答申書として提出。
- ・企画委員会、幹事会議等所定の手続きを経て、2009年度から本格実施を行っている。

3. 制度の分析と改訂

2. 3 試行制度の分析

2. 3. 1 延長期間分も含めた制度実施状況の分析（添付資料 1 参照）

- ア) 「目標設定シート」提出率（2007、2008 両年度の平均、ハワイ除く）は 81%、「達成度報告書」提出率（ハワイ除く）は 73%（但し添付資料 2 技術系職員対象アンケート質問 3 の回答によれば、未提出理由の 8 割弱は所属長のコメント待ちのため）であり、両書類に対する意識は高い。
- イ) 「OJT 報告書」提出率の平均（ハワイ除く）は 52%、「作業進捗報告書」提出率の平均（ハワイ除く）は 72%であり、前者に関しては意識は高いとはいえない。
- ウ) 業務スーパーバイザの受持人数は最大で 7 人、平均 1.8 人を担当している。
- エ) 両年度平均で四分の一強が専門スーパーバイザを指名していない。特に専門的見地からの指導が必要な技術員・主任技術員・技師においては、合わせて 6 割前後が未指名である。

以上より、「目標設定シート」と「達成度報告書」は制度としてある程度機能していた一方、「OJT 報告書」は必ずしも機能していたとはいえないことが明らかとなった。また専門スーパーバイザが十分に機能しておらずその設置に問題があること、業務スーパーバイザの最大担当人数を考慮すべきことも明らかとなった。

2. 3. 2 アンケート回答の分析（添付資料 2 参照）

オ) 技術系職員の「目標設定シート」提出において、特に 2008 年度では未提出理由の 4 割強で所属長との話し合いが円滑に行われていない。また上記ア)にある通り、「達成度報告書」未提出者の理由の 8 割弱が所属長の返答待ちであった。

カ) 制度の活用への希望では、“昇給昇格等の資料にしてほしくない”が“資料にしてほしい”を技術系職員では 6%、所属長では 9%上回った。逆に、業務スーパーバイザ／上司と専門スーパーバイザでは、後者が各々9%、13%上回った。

キ) 制度の今後について、“何らかの本格運用を望む”（「本格運用を望む」、「一部変更した上で本格運用を望む」、「将来的には本格運用を望む」）と“本格運用は望まない”の割合は、技術系職員では 61%と 34%、業務スーパーバイザ／上司では 50%と 50%、所属長では 67%と 11%、専門スーパーバイザでは 69%と 8%であった。

以上より、制度に対する所属長の意識が十分とはいえないこと、評価の当事者となる技術系職員と所属長両方で制度を昇給昇格等の資料にすることについて懸念があること、制度の本格運用については業務スーパーバイザ／上司を除き、いずれも 7 割弱がなんらかの改善をほどこした本格運用に賛成であることが明らかとなった。

2. 5 検証のまとめと委員会の結論

検証の結果、本制度の本格運用を望む声（試行制度の一部変更や将来の導入希望も含む）は望まない声を上回り、全体の過半となった。但し、制度の様々な問題点も浮上した。よって本委員会は、修正を施した上で制度を本格運用することが、本台にとって有益であろうと結論づけた。試行で明確化された問題点は次の六つに集約される。

① 制度の位置付けとグローバルな目的の明確化

制度の背景にある目的、本格運用では何を指すか、評価との関係等。

② プロジェクト・センター間の差異の扱い

プロジェクト・センターごとに体制が異なる状況で統一的なことを要求するか等。

③ 制度に対する所属長の意識の低さ

制度の意義や納得できる目的の明確化と罰則の是非等。

④ 報告書のあり方と扱い

報告書作成の目的と対象者の選別、報告書の形式等。

⑤ スーパーバイザのあり方

訓練の必要性、意識の低い人の対策、業務と専門の分け方の是非等。

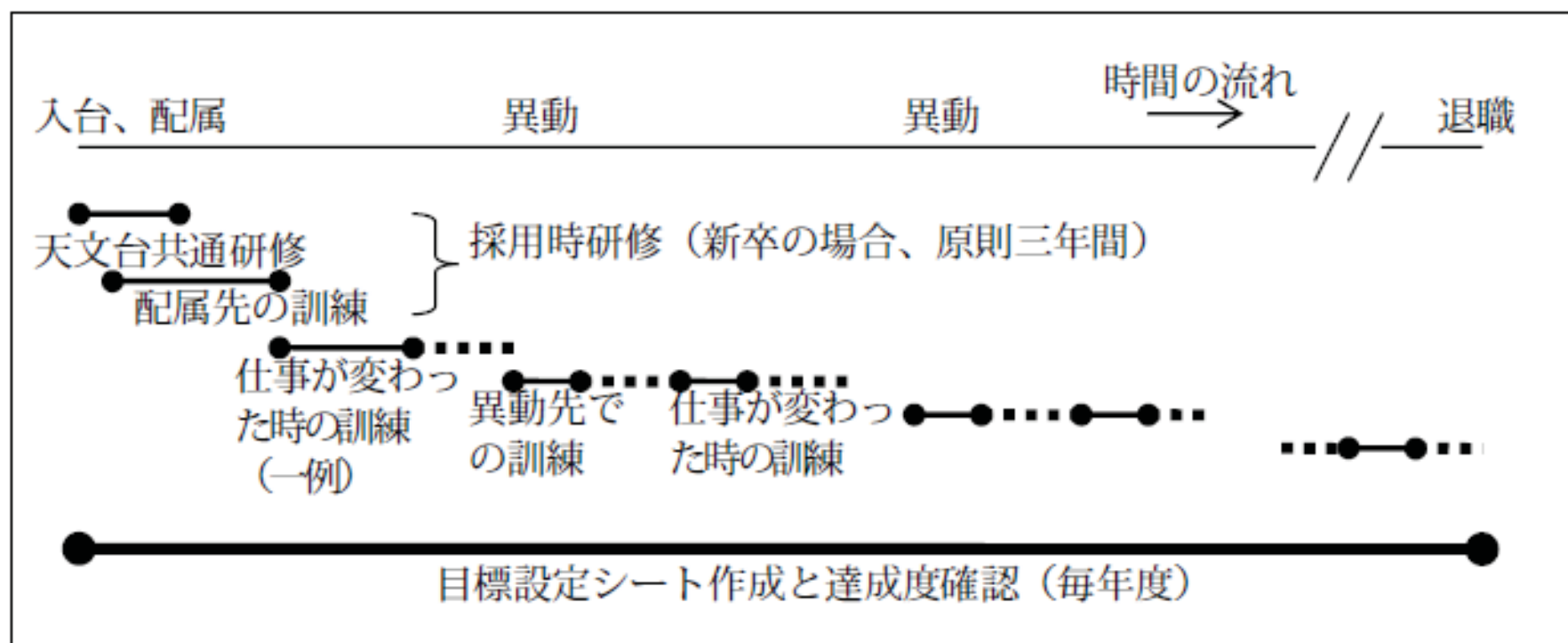
⑥ 技術推進室の役割

設置の目的、納得できる役割、本格運用時の具体的な作業内容等。

4. まとめ

一年と半年間実施した「OJT 制度を基本とする能力開発プログラム」制度の試行は、検証の結果、明確化された問題点を修正し本格運用に移行させることが、本台においては非常に有益であると判断した。従って本委員会は、3章に則った制度の本格的な運用を答申する。なお名称による混乱を避けるため、従来の「OJT 制度を基本とする能力開発プログラム」に替わる新制度名「ジョブサポート制度（職務遂行支援制度）」を提案する。

最後に、ここで提案した制度は技術系職員の異動・評価・キャリアパス等を網羅した全体の制度設計の一環である。この全体の制度設計については、本委員会の今後の課題として引き続き検討する必要があると考える。



4. 本格実施した制度内容

制度名:「OJT制度を基本とする能力開発プログラム」を
「ジョブサポート制度(業務支援制度)」

1. 能力開発・育成プログラム ==> 「年度ごとの目標設定と達成度の確認」

技術系職員全員対象

年度当初に「目標設定シート」作成(スーパーバイザ、所属長と相談)

年度末に「達成度報告書」作成(自己評価、SVコメント、所属長コメント)

webによる電子投稿

2. OJT(On the Job Training)制度 ==> 廃止

3. 初任者研修制度 ==> 「職場訓練」

「採用時研修」新卒相当で入台した技術系職員が対象(技能により短縮可)

成果報告書作成と成果報告会を行う。

「異動先での訓練」異動があった技術系職員対象

SVが研修計画書を作成し、研修終了時に報告書を提出

「仕事が変わった時の訓練」配置換え等で仕事内容が大きく変わった

技術系職員対象

SVが研修計画書を作成し、研修終了時に報告書を提出

年度当初に目標を設定(SVと所属長とで相談する)

年度末に達成度を記入

目標設定シート(記入例)

部署: 営業 本部	所属: OOプロジェクト	達成予定年: 2020年4月1日
スーパーバイザ氏名: 佐藤 三郎	スーパーバイザ氏職名: 課長 三郎(サイン)	プロジェクト長氏職名: 顧問 イブロー(サイン)

業務項目	難易度	達成内容	具体的方策
1. プロジェクト業務 (1) (20%) B2Bマーケティングの推進	難	1. 新規顧客の獲得業務 2. プライバシー制度、情報セキュリティの作成と管理 3. プライバシーの研修およびフォロー等	1. プライバシー制度策定の進捗確認(製造現場の状況から) 2. プライバシー制度策定の進捗確認および製造現場への実務を 実施した製造スケジュールの立案と実行管理。 3. 新製品開発の導入および実行計画を遂行する。
2. プロジェクト業務 (2) (20%) 新規顧客獲得	難	1. 新規顧客の獲得業務 2. 新規顧客のデバイス導入支援 3. トラブル対応	1. 新規顧客の獲得業務 2. プライバシー制度の策定・実行を推進する。 3. これまで実施した施策を(1)にした技術的なアドバイス、コ ンサルメントを行う 3. 顧客の課題(1)のトラブルやデバイス導入 のトラブルに際して、顧客の改善を支援を行う
3. プロジェクト業務 (3) (20%) 新規デバイスの開発	難	新規デバイス開発業務の進捗確認とその対応	新規デバイスの開発業務とデバイス導入 の進捗確認とその対応。また、製造現場 のトラブルに際して、顧客の改善を支援する
4. 課外業務 (1) (10%) 研修会、勉強会等(2名参加)	中	B2Bマーケティング受取用B2Cマーケティングの推進 (2名参加の1名)	B2Bマーケティングの推進と 実施業務
5. 課外業務 (2) (10%) 研修会、勉強会等(1名参加)	中		
6. 研修会、勉強会等	中		
7. 社内業務(1) (5%) (1) 新規顧客の獲得 (2) 安全管理体制	中	(1) 新規顧客の獲得、研修とその実施 (2) 研修における安全管理体制の向上と安全管理体制の整備	(1) 新規顧客の獲得と研修とその実施業務の推進 (2) 研修における安全管理体制のアップと安全管理体制
8. 社内業務(2) (5%) 新規顧客の獲得(1名参加)	中		
9. 研修会、勉強会等(3名参加)	中		
10. 研修会、勉強会等(4名参加)	中		
11. 研修会、勉強会等(5名参加)	中		
12. 研修会、勉強会等(6名参加)	中		
13. 研修会、勉強会等(7名参加)	中		
14. 研修会、勉強会等(8名参加)	中		
15. 研修会、勉強会等(9名参加)	中		
16. 研修会、勉強会等(10名参加)	中		
17. 研修会、勉強会等(11名参加)	中		
18. 研修会、勉強会等(12名参加)	中		
19. 研修会、勉強会等(13名参加)	中		
20. 研修会、勉強会等(14名参加)	中		
21. 研修会、勉強会等(15名参加)	中		
22. 研修会、勉強会等(16名参加)	中		
23. 研修会、勉強会等(17名参加)	中		
24. 研修会、勉強会等(18名参加)	中		
25. 研修会、勉強会等(19名参加)	中		
26. 研修会、勉強会等(20名参加)	中		
27. 研修会、勉強会等(21名参加)	中		
28. 研修会、勉強会等(22名参加)	中		
29. 研修会、勉強会等(23名参加)	中		
30. 研修会、勉強会等(24名参加)	中		
31. 研修会、勉強会等(25名参加)	中		
32. 研修会、勉強会等(26名参加)	中		
33. 研修会、勉強会等(27名参加)	中		
34. 研修会、勉強会等(28名参加)	中		
35. 研修会、勉強会等(29名参加)	中		
36. 研修会、勉強会等(30名参加)	中		
37. 研修会、勉強会等(31名参加)	中		
38. 研修会、勉強会等(32名参加)	中		
39. 研修会、勉強会等(33名参加)	中		
40. 研修会、勉強会等(34名参加)	中		
41. 研修会、勉強会等(35名参加)	中		
42. 研修会、勉強会等(36名参加)	中		
43. 研修会、勉強会等(37名参加)	中		
44. 研修会、勉強会等(38名参加)	中		
45. 研修会、勉強会等(39名参加)	中		
46. 研修会、勉強会等(40名参加)	中		
47. 研修会、勉強会等(41名参加)	中		
48. 研修会、勉強会等(42名参加)	中		
49. 研修会、勉強会等(43名参加)	中		
50. 研修会、勉強会等(44名参加)	中		
51. 研修会、勉強会等(45名参加)	中		
52. 研修会、勉強会等(46名参加)	中		
53. 研修会、勉強会等(47名参加)	中		
54. 研修会、勉強会等(48名参加)	中		
55. 研修会、勉強会等(49名参加)	中		
56. 研修会、勉強会等(50名参加)	中		
57. 研修会、勉強会等(51名参加)	中		
58. 研修会、勉強会等(52名参加)	中		
59. 研修会、勉強会等(53名参加)	中		
60. 研修会、勉強会等(54名参加)	中		
61. 研修会、勉強会等(55名参加)	中		
62. 研修会、勉強会等(56名参加)	中		
63. 研修会、勉強会等(57名参加)	中		
64. 研修会、勉強会等(58名参加)	中		
65. 研修会、勉強会等(59名参加)	中		
66. 研修会、勉強会等(60名参加)	中		
67. 研修会、勉強会等(61名参加)	中		
68. 研修会、勉強会等(62名参加)	中		
69. 研修会、勉強会等(63名参加)	中		
70. 研修会、勉強会等(64名参加)	中		
71. 研修会、勉強会等(65名参加)	中		
72. 研修会、勉強会等(66名参加)	中		
73. 研修会、勉強会等(67名参加)	中		
74. 研修会、勉強会等(68名参加)	中		
75. 研修会、勉強会等(69名参加)	中		
76. 研修会、勉強会等(70名参加)	中		
77. 研修会、勉強会等(71名参加)	中		
78. 研修会、勉強会等(72名参加)	中		
79. 研修会、勉強会等(73名参加)	中		
80. 研修会、勉強会等(74名参加)	中		
81. 研修会、勉強会等(75名参加)	中		
82. 研修会、勉強会等(76名参加)	中		
83. 研修会、勉強会等(77名参加)	中		
84. 研修会、勉強会等(78名参加)	中		
85. 研修会、勉強会等(79名参加)	中		
86. 研修会、勉強会等(80名参加)	中		
87. 研修会、勉強会等(81名参加)	中		
88. 研修会、勉強会等(82名参加)	中		
89. 研修会、勉強会等(83名参加)	中		
90. 研修会、勉強会等(84名参加)	中		
91. 研修会、勉強会等(85名参加)	中		
92. 研修会、勉強会等(86名参加)	中		
93. 研修会、勉強会等(87名参加)	中		
94. 研修会、勉強会等(88名参加)	中		
95. 研修会、勉強会等(89名参加)	中		
96. 研修会、勉強会等(90名参加)	中		
97. 研修会、勉強会等(91名参加)	中		
98. 研修会、勉強会等(92名参加)	中		
99. 研修会、勉強会等(93名参加)	中		
100. 研修会、勉強会等(94名参加)	中		
101. 研修会、勉強会等(95名参加)	中		
102. 研修会、勉強会等(96名参加)	中		
103. 研修会、勉強会等(97名参加)	中		
104. 研修会、勉強会等(98名参加)	中		
105. 研修会、勉強会等(99名参加)	中		
106. 研修会、勉強会等(100名参加)	中		
107. 研修会、勉強会等(101名参加)	中		
108. 研修会、勉強会等(102名参加)	中		
109. 研修会、勉強会等(103名参加)	中		
110. 研修会、勉強会等(104名参加)	中		
111. 研修会、勉強会等(105名参加)	中		
112. 研修会、勉強会等(106名参加)	中		
113. 研修会、勉強会等(107名参加)	中		
114. 研修会、勉強会等(108名参加)	中		
115. 研修会、勉強会等(109名参加)	中		
116. 研修会、勉強会等(110名参加)	中		
117. 研修会、勉強会等(111名参加)	中		
118. 研修会、勉強会等(112名参加)	中		
119. 研修会、勉強会等(113名参加)	中		
120. 研修会、勉強会等(114名参加)	中		
121. 研修会、勉強会等(115名参加)	中		
122. 研修会、勉強会等(116名参加)	中		
123. 研修会、勉強会等(117名参加)	中		
124. 研修会、勉強会等(118名参加)	中		
125. 研修会、勉強会等(119名参加)	中		
126. 研修会、勉強会等(120名参加)	中		
127. 研修会、勉強会等(121名参加)	中		
128. 研修会、勉強会等(122名参加)	中		
129. 研修会、勉強会等(123名参加)	中		
130. 研修会、勉強会等(124名参加)	中		
131. 研修会、勉強会等(125名参加)	中		
132. 研修会、勉強会等(126名参加)	中		
133. 研修会、勉強会等(127名参加)	中		
134. 研修会、勉強会等(128名参加)	中		
135. 研修会、勉強会等(129名参加)	中		
136. 研修会、勉強会等(130名参加)	中		
137. 研修会、勉強会等(131名参加)	中		
138. 研修会、勉強会等(132名参加)	中		
139. 研修会、勉強会等(133名参加)	中		
140. 研修会、勉強会等(134名参加)	中		
141. 研修会、勉強会等(135名参加)	中		
142. 研修会、勉強会等(136名参加)	中		
143. 研修会、勉強会等(137名参加)	中		
144. 研修会、勉強会等(138名参加)	中		
145. 研修会、勉強会等(139名参加)	中		
146. 研修会、勉強会等(140名参加)	中		
147. 研修会、勉強会等(141名参加)	中		
148. 研修会、勉強会等(142名参加)	中		
149. 研修会、勉強会等(143名参加)	中		
150. 研修会、勉強会等(144名参加)	中		
151. 研修会、勉強会等(145名参加)	中		
152. 研修会、勉強会等(146名参加)	中		
153. 研修会、勉強会等(147名参加)	中		
154. 研修会、勉強会等(148名参加)	中		
155. 研修会、勉強会等(149名参加)	中		
156. 研修会、勉強会等(150名参加)	中		
157. 研修会、勉強会等(151名参加)	中		
158. 研修会、勉強会等(152名参加)	中		
159. 研修会、勉強会等(153名参加)	中		
160. 研修会、勉強会等(154名参加)	中		
161. 研修会、勉強会等(155名参加)	中		
162. 研修会、勉強会等(156名参加)	中		
163. 研修会、勉強会等(157名参加)	中		
164. 研修会、勉強会等(158名参加)	中		
165. 研修会、勉強会等(159名参加)	中		
166. 研修会、勉強会等(160名参加)	中		
167. 研修会、勉強会等(161名参加)	中		
168. 研修会、勉強会等(162名参加)	中		
169. 研修会、勉強会等(163名参加)	中		
170. 研修会、勉強会等(164名参加)	中		
171. 研修会、勉強会等(165名参加)	中		
172. 研修会、勉強会等(166名参加)	中		
173. 研修会、勉強会等(167名参加)	中		
174. 研修会、勉強会等(168名参加)	中		
175. 研修会、勉強会等(169名参加)	中		
176. 研修会、勉強会等(170名参加)	中		
177. 研修会、勉強会等(171名参加)	中		
178. 研修会、勉強会等(172名参加)	中		
179. 研修会、勉強会等(173名参加)	中		
180. 研修会、勉強会等(174名参加)	中		
181. 研修会、勉強会等(175名参加)	中		
182. 研修会、勉強会等(176名参加)	中		
183. 研修会、勉強会等(177名参加)	中		
184. 研修会、勉強会等(178名参加)	中		
185. 研修会、勉強会等(179名参加)	中		
186. 研修会、勉強会等(180名参加)	中		
187. 研修会、勉強会等(181名参加)	中		
188. 研修会、勉強会等(182名参加)	中		
189. 研修会、勉強会等(183名参加)	中		
190. 研修会、勉強会等(184名参加)	中		
191. 研修会、勉強会等(185名参加)	中		
192. 研修会、勉強会等(186名参加)	中		
193. 研修会、勉強会等(187名参加)	中		
194. 研修会、勉強会等(188名参加)	中		
195. 研修会、勉強会等(189名参加)	中		
196. 研修会、勉強会等(190名参加)	中		
197. 研修会、勉強会等(191名参加)	中		
198. 研修会、勉強会等(192名参加)	中		
199. 研修会、勉強会等(193名参加)	中		
200. 研修会、勉強会等(194名参加)	中		
201. 研修会、勉強会等(195名参加)	中		
202. 研修会、勉強会等(196名参加)	中		
203. 研修会、勉強会等(197名参加)	中		
204. 研修会、勉強会等(198名参加)	中		
205. 研修会、勉強会等(199名参加)	中		
206. 研修会、勉強会等(200名参加)	中		

自己アピール・抱負記入欄

達成度報告書(記入例)

部署: 営業 本部	所属: OOプロジェクト	達成予定年: 2020年4月1日
スーパーバイザ氏名: 佐藤 三郎	スーパーバイザ氏職名: 課長 三郎(サイン)	プロジェクト長氏職名: 顧問 イブロー(サイン)

業務項目	達成度	自己評価欄	SVコメント
1. プロジェクト業務 (1) (20%) B2Bマーケティングの推進	中	評価: (B) (コメント) 評価以上のトラブルが頻発し、製造スケジュールに遅延が生じているため、製造現場と連携してトラブルの発生を抑制し、製造スケジュールの遅延を減らす	評価: (A) (コメント) トラブルに遭遇したにもかかわらず、その平穩にもかかわらず目標を達成できたことが評価。また、トラブルの発生時の迅速な対応が評価。今後の目標達成に向けて引き続き努力を要する
2. プロジェクト業務 (2) (20%) 新規顧客獲得	中	評価: (C) (コメント) 新規顧客の獲得業務が予定通り進んでいないため、追加の努力が必要	評価: (A) (コメント) 新規顧客の獲得業務が予定通り進んでいることが評価。今後の目標達成に向けて引き続き努力を要する
3. プロジェクト業務 (3) (20%) 新規デバイスの開発	中	評価: (B) (コメント) 新規デバイスの開発業務が予定通り進んでいることが評価	評価: (B) (コメント) 新規デバイスの開発業務が予定通り進んでいることが評価
4. 課外業務 (1) (10%) 研修会、勉強会等(2名参加)	中	評価: (B) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価
5. 課外業務 (2) (10%) 研修会、勉強会等(1名参加)	中	評価: (B) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価
6. 研修会、勉強会等	中	評価: (B) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価
7. 社内業務(1) (5%) (1) 新規顧客の獲得 (2) 安全管理体制	中	評価: (B) (コメント) 新規顧客の獲得業務が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 新規顧客の獲得業務が予定通り進んでいることが評価
8. 社内業務(2) (5%) 新規顧客の獲得(1名参加)	中	評価: (B) (コメント) 新規顧客の獲得業務が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 新規顧客の獲得業務が予定通り進んでいることが評価
9. 研修会、勉強会等(3名参加)	中	評価: (B) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価
10. 研修会、勉強会等(4名参加)	中	評価: (B) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価
11. 研修会、勉強会等(5名参加)	中	評価: (B) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価
12. 研修会、勉強会等(6名参加)	中	評価: (B) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価
13. 研修会、勉強会等(7名参加)	中	評価: (B) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価
14. 研修会、勉強会等(8名参加)	中	評価: (B) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価
15. 研修会、勉強会等(9名参加)	中	評価: (B) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価
16. 研修会、勉強会等(10名参加)	中	評価: (B) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価
17. 研修会、勉強会等(11名参加)	中	評価: (B) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価
18. 研修会、勉強会等(12名参加)	中	評価: (B) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価
19. 研修会、勉強会等(13名参加)	中	評価: (B) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価
20. 研修会、勉強会等(14名参加)	中	評価: (B) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価	評価: (A) (コメント) 研修会、勉強会等が予定通り進んでいることが評価
21. 研修会、勉強会等(15名参加)	中	評価: (B)	

5. 実施の状況と今後

- ・目標設定シート提出率 87.7% (73人中64名)
プロジェクトの事情により未提出(9名)

- ・達成度報告書(今年度末) 未

- ・「採用時研修」(以前は初任者研修と呼んでいた)

研修者2名

成果報告書提出 11月

技術検討委員会で査読。仕事内容に立ち入った熟知度、完成度を重点にするのではなく、研修を行うことで、どれだけ手助けになったり、成果に結び付いたか、自分の貢献はどこにあったかなどを重点に審査する。

査読コメントに従い改訂を行う。完成版は出版し図書室に保存する。

1月21日 成果発表会開催(全台に案内)

トピックスを中心に40分発表、20分質疑応答

- ・「異動先での訓練」、「仕事が変わった時の訓練」

該当者各1名 実施中

6. 技術検討委員会の検討中課題

・異動システム

技術系職員の再編成(今後早い時期に発生する可能性)

→プロジェクトの状況による職場変更

今までは、その場凌ぎ?で対応していた

→システム化できないか?

毎年技術系職員からの希望を調査、プロジェクトからの希望を調査

→データベース化して調整にあたる。==>技術推進室実務

・技術推進室の役割

当面は、ジョブサポート制度の実務、研修者の支援

今後、異動に伴う調整作業

人数、職種等検討中

・天文台全体の技術推進について

天文台としての技術をどう考え、どう対処していくか

全台的な長中期ビジョンに則ったロードマップの作成